

平成22年第5回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	2番	大塚あかね (60分)	<p>1. 子どもの権利について</p> <p>(1)「子ども議会」について</p> <p>①「子ども議会」で提案された子どもの意見はどのように市政に反映されるのか。</p> <p>②「子ども議会」を引き継いだ取り組みを考えているか。</p> <p>(2)子どもの安全・安心について</p> <p>①子どもには安心して、安全な環境で遊ぶ権利がある。松林学童クラブの園庭は早急に整備するべきではないか。</p> <p>(3)子どもの参加の機会の充実と支援について</p> <p>①市政等について、子どもが意見を表明し、参加する機会を今度、どのように設けていくのか。</p> <p>②子どもに関わる施策、取り組み等について、子どもが理解を深め、意見を形成することができるよう、子どもの視点に立った情報発信に努めていくべきではないか。</p> <p>(4)子どもに関する意識調査、実態調査を行う考えはあるか。</p> <p>(5)「子どもの権利条例」を制定する自治体が増えてきているが、羽村市は「子どもの権利条例」を制定する考えはあるか。</p> <p>2. 羽村市の農業政策について</p> <p>(1)「農地の保全」について、具体策を伺う。</p> <p>(2)市政世論調査で示された「農業の振興と農地の保全」の結果をどのように分析しているか。</p> <p>(3)援農ボランティアについて</p> <p>①ボランティア養成を今後、どのように図っていくのか。</p> <p>②国分寺市のように「農業大学」を立ち上げ、農業を勉強し、実践力を身につけて農家とマッチングを図ってはいかがか。</p> <p>(4)体験農園は今後、どのように増園を図っていくのか。</p> <p>(5)農業後継者に対してはさらなる支援が必要ではないか。</p> <p>3. ハーブによる、地域の活性化について</p> <p>(1)「環境」や「健康」を切り口に、多様な用途と効用のある「ハーブ」を活用し、地域の活性化に役立てる事業展開を図ってはいかがか。</p> <p>(2)関係団体と連携し、複数年事業として地域への広がりを図り、熟度を高め、成果をあげていってはいかがか。</p>	12月7日

1. 公立保育園の民営化と子育て支援策について

(1) 公立保育園の民営化のガイドライン (案) について

- ①公表後のパブリックコメントの件数と内容は。
- ②私立保育園の関係団体より要望書が出されていると聞いているがその骨子は何か。また、羽村市として要望書に対してどう対応しようと考えているか。
- ③ ①②等により当初のガイドラインがどのように見直されるのか。
- ④待機児童対策として、待機児童の多い 0 歳児から 2 歳児の解消策が求められている。市は、私立幼稚園協会からも解決のための提案を受けているが、一定の考え方に共感しながら、新たな支援策を進めていく考えは。
- ⑤当初案の平成 25 年度・平成 26 年度と 4 園の民営化を見直す考えはあるか。

(2) 今後の子育て支援策の拡充について

- ①児童虐待防止策として、都議会公明党はすべての子ども家庭支援センターに「虐待対策ワーカー」などの専門家の配置を求めている。この配置により児童相談所、学校、地域（病院・児童委員）との連携が強化されるねらいがある。児童虐待を未然に防ぐためにも、羽村市子ども家庭支援センターに「虐待対策ワーカー」の配置を検討する考えがあるか。
- ②現在羽村市の子ども家庭支援センターには臨床心理士の方が 1 名配置されており、私立も公立も民間の巡回相談員の方が巡回しておられる。それでも現場はさらなる専門家の必要を感じているようである。これまでその必要性を何度も提案してきたが、発達障害児支援策として幼児期から成人期に至るまで一貫して支援を行う「発達障害者支援コーディネーター」の配置を進める考えはあるか。
- ③保護者への負担軽減策について、幼稚園、認可保育園、認証保育所、家庭福祉員など、それぞれどのように進展させていくのか。

(3) 幼・保・小の連携について

- ①子ども家庭部ができて 5 年。幼稚園との交流・連携を強化する考えはないか。
- ②小中一貫教育が進む中で、幼・保と小学校の連携についての進展は今一步との声がある。具体的施策として以下提案し、市の考えを聞く。
(ア)教育委員会として、小学 1 年生を担当する教師が幼稚園で研修するプログラムの設置
(イ)保護者説明会のおりに園児と高学年との交流等の催しを企画しては。
(ウ)各園からの学校訪問の際もひと工夫できるのではないか。

3 人目

6 番

小 宮 國 暉
(60 分)

2. ひとり暮らし高齢者への支援について

- (1) 単身高齢者の世帯数の現状と今後の推移をどう予測しているか。また、高齢者夫婦世帯の現状と今後の推移予測も伺う。
- (2) ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の安否確認について
 - ① 民生児童委員が高齢者の実態調査を行ったと聞いている。この調査の結果、何が明らかになり、それをどう分析しているか。
 - ② そこから見えてきた安否確認の現状と課題は何か。
 - ③ 清掃業者等が安否確認を行っている自治体もあるように聞いている。市として具体的施策をどう考えているか。
- (3) 「命のバトン」救急医療情報キットの導入推進について
 - ① 導入を検討する場合の対象をどう考えているか。
 - ② 意図に沿った活用がなされるためにはどのような工夫が必要と考えるか。
 - ③ 普及・理解・使用実践と誰が推進することが望ましいと考えるか。
- (4) 買物弱者・買物難民対策について
 - ① 市内の商店・組合・商工会などの民間企業や団体がこの問題にどう取り組んでいると認識しているか。
 - ② 市としてどの部局が何をどのように支援していくのか。
 - ③ 推進する主体者はどこが適切と考えているか。
- (5) 地域包括支援センターなどの支援機関の個人情報活用の活用について、市としてどのように取り組んでいるか。
- (6) 以前より災害要援護者対策の必要性を述べてきた。個人情報保護の観点からの課題があるとしてきたが、その後進展はしたか。

1. 平成 23 年度予算編成にむけて

- (1) 今年度の財政運営の現状は。
- (2) 平成 23 年度の予算編成にあたっての課題は何か。
- (3) 厳しい財政状況の中、平成 23 年度予算編成にどう取り組んでいくのか。
- (4) 第五次長期総合計画を実施していくため、安定的な財政運営を含め、行財政改革を具体的にどう進めていくのか。

2. ”活力に満ちたにぎわいのあるまち”に向けて

- (1) 現在実施中である”活力に満ちたにぎわいのある街づくり”の施策、実績について
 - ① 観光面における施策、実績は。
 - ② 産業面における産業振興策、実績は。

12 月 7 日

4 人目

4 番

橋 本 弘 山
(60 分)

(2) 市政世論調査報告にみられる、魅力ある羽村、羽村らしさ等、市の特色を生かした観光インフラの整備・充実にむけて、市はどのようなビジョンを考えているか。

①羽村駅西口周辺より、多摩川、羽村堰に至る街路は、数十年間現状のままである。安心してあるける歩道の整備を早急にと望む声強い。歩車道の区分をはじめ、街路のありかたなどの現状整備について、どのように実施への策定がされているのか。

②多くの市内外の人が訪れるとき、大型バスをふくむ駐車場、休憩場所、トイレ手洗い場所、案内標識等の施設整備についてどのように考えているか。

(3) 産業面における、今後の産業振興策はどのように考えているか。

(4) 第五次長期総合計画の策定にあたり、” 活力に満ちたにぎわいのある街づくり” は継続される重要な施策と考えるが、市はどのように考えているのか。

3. 羽村市独自の特色ある教育内容について

(1) 羽村市独自の特色ある教育『「羽村学（郷土学習）」、「人間学（キャリア教育）」、「英語教育』』について

①実施するにあたっては” 人材-教師（人）、教材・資料（モノ）、予算（カネ）、興味を抱かせる方策（意欲）” の 4 要素がバランス良く整っていないと考えるが、現時点での準備進捗状況は。

②学年ごとの各科目の年間授業時数割り当てはどのように考えているか。

③羽村市独自の特色ある教育を実施するに当たり、民間人材・企業・施設を活用する考えはあるか。

(2) 小中一貫教育で「羽村の子どもたちに育てたい力」とは何か。

1. 活気ある羽村のまちづくりについて

(1) 市制 20 周年に向けての取り組みについて

①具体的な記念行事を予定しているか。

②「羽村市の歌」を普及させるための取り組みは。

③11 月 1 日を「はむら市民の日」に制定したらどうか。

(2) さらにまちを元気にする取り組みについて

①羽村市の全行事に対応のできる「ゆるキャラ」を検討してみてはどうか。

12 月 7 日

- ②春祭りの際の羽村堰の神輿の川入れと、羽村駅西口広場で始まった山車の競演を羽村全域の神社に呼びかけ、「花と水のまつり」の目玉としてもっとPRしてはどうか。
 - ③羽村市内を流れる多摩川のアユの天然遡上を補佐する魚道の取り組みを流域自治体や国に働きかけてはどうか。
 - ④羽村市の名産品の取り組みについて、その進捗状況は。
- (3)羽村の良さ、自慢をもっと市民にPRすべきとの観点から
- ①数字に表わすことのできる羽村の良さ、自慢をもっと市民にアピールすべきと考えるのがいかがか（例えば区市部の合計特殊出生率など）。
- (4)平成22年度市政世論調査結果について
- ①市政世論調査結果についての所感、分析は。
 - ②第五次長期総合計画にどのように反映させていくのか。
 - ③今後の課題は。

2. 市職員のアイデアや能力を引き出す施策について

- (1)職員提案制度について
- ①職員提案の最近5年間の応募件数の推移は。
 - ②どのような分野の応募が多いのか。
 - ③応募する職員の役職や部署はどのようになっているのか。
 - ④審査は誰が何人で行うのか。
 - ⑤平成12年度以降、現在まで職員提案の施策はどれほど採用されてきたのか、またその内容はどのようなものだったか。
 - ⑥職員提案制度の課題となっていることはあるのか。
 - ⑦課題となっている点があるならば、それを改善し、よりすぐれた制度にするためにはどうすべきか。
- (2)職員のスペシャリスト化について
- ①現在、スペシャリストを登用している部署はいくつあり、それぞれどのように機能しているか。
 - ②現在、一般職員の異動年数の平均は
 - ③民間企業からの途中採用も含め、スペシャリストを採用することは考えているか。
 - ④職員の能力や適性を見極め、専門的な知識や高度な技術が必要となる分野の業務を担当するスペシャリストの養成を図っていく予定はないか。
- (3)将来を見据えた人材育成確保について
- ①市の方向性は。

3. 平成23年度予算編成への取り組みについて

- (1)平成23年度予算編成にあたっての方針は。
- (2)市税収入の減少など財源不足が予想されるなかで、予算編成にどう取り組んでいくのか。

5 人目

16 番

市川英子
(60 分)

1. 市内公共施設等に磁気誘導ループの設置を

(1) 市内公共施設等に磁気誘導ループの設置を
する考えはないか。

2. すべての子どもに教育の機会均等の保障につ いて

(1) 生活安定化総合対策事業の中の「チャレンジ支
援貸付事業」について

- ① 現在何人が利用しているか。
- ② 制度の徹底をどのようにしているか。
- ③ 対象が中学 3 年生と高校 3 年生だが、市の単
独事業で対象学年を広げる考えはないか。

(2) 羽村市被保護者自立促進事業経費補助金交付
支給の内、「次世代育成支援」について

- ① 高校進学・基礎学力向上支援費の対象者は現
在何人か。
- ② 高校進学・基礎学力向上支援費を現在利用し
ている人数は何人か。
- ③ この制度を利用する場合の基準はあるか。
- ④ 学習・相談ボランティア派遣費用の利用はあ
るか。
- ⑤ 次世代育成支援費の制度の徹底はどのように
しているか。

3. 市内の土地活用について

(1) 「小作台 5-18」元町営住宅の跡地。過去に何
度か質問したが現在もそのままになっている。

どのような手順を踏めば、羽村市が自由に使用
できる土地になるのか調べたのか伺う。

(2) 「羽村リトルシニアリーグ」が使用しているグ
ランドは、使用を許可する契約がされた
のか伺う。

(3) 羽村大橋の下の駐車場の利用状況はどうか伺
う。

(4) 水上公園プール利用者の駐車場になっていた
河川敷のその後の利用を伺う。

(5) 清流町にあった魚観荘関係の市有地の扱いは
どうなっているか。

12 月 7 日

6 人目

14 番

露木諒一
(50 分)

1. 「財政の見える化」について

(1) 市民税法人分等の減少により、平成 15 年度以
降堅持してきた「不交付団体」から本年度「交付
団体」になった。基金も乏しくなり、経常収支比
率も 100 を超えている。この厳しい財政状況に
対し、どう、立ち向かうのか市長の決意を伺う。

(2) 平成 18 年度 3 月議会より、4 回、5 回と外部
の視点を入れた「事業仕分け」「協働化テスト」等
提案をしてきたが、当市は本年度、外部の評価
を取り入れた「事業仕分け」を実施するが、その
取り組み作業について伺う。

(3) 「地方財政健全化法」による 4 つの財政健全化
判断基準の指標があるが、特に「実質公債費比
率」「将来負担比率」の羽村市の状況について伺う。

12 月 8 日

7人目

3番

西川 美佐保
(60分)

- (4) 厳しい財政状況の中、市の重要施策に位置づけている「羽村駅西口土地区画整理事業」をはじめ、計画している事業における影響はどうか。
- (5) 平成17年度3月議会、20年度3月議会等において現金の出入りだけを記録する「単式簿記」を採用している「官庁会計」と、現金の受け渡しがなくとも取引が行われた時点に計上する発生主義、「複式簿記」を採用する「新公会計制度」について質問しているが、その後の進捗状況は。
- (6) 千代田区では「予算編成の概要」「重要課題の取り組み」「主要事業の取り組み」「財政運営の状況」等239ページにわたる、「区の仕事のあらまし」という予算の概要書を出している。この1冊があれば、千代田区の施策がすべて分かる。羽村市も検討してはどうか。

2. うつ病対策について

- (1) うつ病の早期発見には市民への意識啓発活動や、広報等による情報提供を積極的に展開すべきと考えるがどうか。
- (2) 毎年自殺者が3万人を超えている。うつ病はその多くは仕事の悩みや経済苦などによって発症によるものが多くを占めると言われている。
医療、教育、家庭、就業など幅広い分野に影響を及ぼすことから、各分野と連携をとり、相談窓口を設置し、総合的な対策を講じるべきと考えるがどうか。

1. 市民への医療・健康支援の充実について

- (1) 国は、子宮頸がん小児用肺炎球菌ワクチンに全額国負担を表明しているが、市はそれに伴い、この事業の実施時期、対象年齢、市の負担割合についてどう考えているか。
- (2) 乳がん検診の受診の機会を増やすために、マンモグラフィーの機材が搭載された乳がん検診車の導入等で、集団検診を実施してはどうか伺う。
- (3) 現在、子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券事業が行われているが、受診率50%に向けてさらに検診率を上げるために、今後の対策について伺う。
- (4) 「HTLV-1成人T細胞白血病ウイルス」は母乳による母子感染が6割といわれており、防止対策等が必要と考えるが、市の今後の対策について伺う。
- (5) 休日夜間などに小児救急を受診したくても、平日夜間急患センターでは救急は受け取ってもらえず不安であるとの声があるが、市民に二次救急・三次救急の流れを理解して頂く必要性を感じるが市の考えを伺う。
- (6) 光ファイバー網を利用したテレビ電話で、一人暮らし高齢者が保健師と遠隔健康相談できる対策の構築をしてはどうか。

12月8日

2. 地球温暖化と猛暑対策ビジョンについて

- (1) 現在検討されている「羽村市地球温暖化対策地域推進計画」に、猛暑対策ビジョンや熱中症対策について取り入れてはどうか。
- (2) 気温や湿度などから熱中症の危険度を示す「暑さ指数」の測定スポットの設置や「熱中症注意情報」の提示を様々な公共施設、商業施設、金融施設、駅等と連携し、推進してはどうか。
- (3) 「雨水利用促進条例」等を制定し、学校などに雨水等を使用した打ち水、校庭の地下等に雨水利用や貯留浸透施設の整備や太陽光発電、芝生、緑のカーテン等を進め、多くのクールスポットの推進を行ってはどうか。
- (4) 設置費用の掛からないESCO事業について以前議会で取り上げているが、この事業についてどのように考えているのか伺う。
- (5) 公共施設内の照明及び街路灯について、それぞれLEDの電球に全て取り替えた場合の費用対効果について検証し、効果的に改善すべきではないか。
- (6) 公共施設や学校の暑さ対策として、7度程温度を下げるという「農業用遮光ネット」や「遮熱フィルム」を活用してはどうか。

3. 景気・雇用対策について

- (1) 市内企業の海外進出に向けた販路拡大のための支援を今後どう図るのか伺う。また、来年3月までの時限立法となっている中小企業金融円滑化法が延長されない場合の市内企業への影響について伺う。
- (2) 景気対策として、建築工事を発注することが市内業者に有利と考える。市役所などの公共施設の耐震化を前倒しして実施してはどうか伺う。
- (3) 第三次のにぎわい商品券について、発行する考えはあるのか伺う。もし今後、にぎわい商品券を発行する場合、併せて商店の活性化を図る起爆剤となるような施策が必要とを感じるが、市の考えを伺う。
- (4) 若者雇用対策として、市で行っている就職相談の現状を伺う。そしてさらなる充実のため、「しごとセンター多摩」と連携し、キャリアアップ、スキルアップと同時に、基本的な挨拶や、面接の心構え、メンタルケアなど、就職活動の対策の充実を図ってはどうか。
- (5) 市内企業は、卒業後3年間は新卒扱いにすることについて、どう認識されていると考えているか。また、企業に必要な人材をどう育てるのか、市としての考えを伺う。

8 人目	9 番	濱 中 俊 男 (45 分)	<p>1. ヘリサインについて</p> <p>(1)ヘリサインの設置の状況は。</p> <p>①東京都の状況は。</p> <p>②西多摩の状況は。</p> <p>③羽村市の状況は。</p> <p>(2)羽村市は、ヘリサインの有効性についてどのように考えているか。</p> <p>(3)福生病院に設置された経過は。</p> <p>(4)今後、当市において設置する考えは。</p> <p>(5)設置する場合、夜間の場合も考え、夜光塗料を使用する事も考慮すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 「花と水のまつり」について</p> <p>(1)年間の来訪者の推移は。</p> <p>(2)案内板について</p> <p>①羽村駅より、堰や水田への誘導はどのようにしているか。</p> <p>②根がらみ前水田に、地域の観光スポットの案内板が必要だと思うが如何か。</p> <p>(3)第一水門上の通行について</p> <p>①来年のまつり期間中の通行はどうか。</p> <p>②都水道局前の奥多摩街道の拡幅・歩道設置工事の進捗状況は。</p> <p>(4)駐車場について</p> <p>①羽村堰下河川敷の利用は、不可能か。</p> <p>② ①の場合、その代替地は。</p> <p>(5)羽村市観光協会への今後の支援はどのように考えているか。</p>	12 月 8 日
9 人目	17 番	川 崎 明 夫 (50 分)	<p>1. 地域の絆の再生について</p> <p>(1)地域活動の活性化について</p> <p>①人を支えること、人の役に立つことは、それ自体が喜びとなり、生きがいともなる。こうした人々の力を、「新しい公共」と呼ぶと、前鳩山内閣のキーワードであったが、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、福祉面でもこの「新しい公共」の精神は重要と考える。どのように認識されているか、また、これからの行政運営にどう生かしていくのか。</p> <p>②地域の絆の再生に向け、今、行われているそれぞれの地域の活動の情報を集約し、必要に応じて効率的な活動の情報や資源を提供したりする役割を担う行政の所管はどこが望ましいと考えているのか。</p> <p>③町内会・自治会活動の振興と「市民活動・ボランティアセンター」の役割をどのように考えているのか。また、公益活動や社会貢献と市民活動の違いや共通点をどのように整理されているのか。</p> <p>(2)地域における福祉活動の推進について</p> <p>①「小地域ネットワーク活動」は、町内会単位で組織化されているが、見守り活動が実践できている地域は少ないと聞いている、市とし</p>	12 月 8 日

10 人目

11 番

水 野 義 裕
(60 分)

- てその振興をどのように考えているのか。
- ②中野区では、地域での見守り活動に取り組む、全国初となる「(仮称) 地域支えあいネットワーク推進条例」の提案が見送られたと聞いている。見送られた要因をどのように分析されているか。
- (3)ひとり暮らし高齢者の孤立防止策について
- ①市は、ひとり暮らし高齢者の実態を把握しているか。また、身体状況や交流相手(いざという時に頼れる)はどうか。
- ②行政と地域住民の役割分担をどのように考え実践しているのか。また、今後の課題は何か。
- ③行政としての限界はあると思うが、孤立しない、させない社会をどのように築いていくべきと考えているか。

1. 財政運営について

(1) 編成中の来年度予算について

- ①現時点での不足財源はどれくらいか。
- ②それにどう対応しようとしているか。

(2) 予算制度について

- ①現在のような、積み上げ・査定による予算制度の長所・短所をどう捉えているか。
- ②足立区では包括予算制度(いわゆる枠予算方式に似ている)を2002年度から採用し、様々な成果をあげている。この制度についてその概要、長所・短所などを把握しているか。
- ③このような制度を導入して、新しい自治体経営に移行することを検討してはどうか。

(3) 「健全な財政に関する条例」などを制定して、財政規律を強化してはどうか。

2. 社会教育などについて

(1) 東京国体について

- ①羽村市でバレーボール成人女子競技が行われることになった経緯はどのようなものか。
- ②競技開催のために予想される費用の総額は、現時点でいくくらいと見ているか。
- ③市の負担はそのうちどれくらいになるか。
- ④スポーツセンターの収容観客数をどれくらいに増やす予定か。
- ⑤スポーツセンターを市民が使えない期間はどれくらいになると予測しているか。その間の使えない市民への対応は。
- ⑥市民参加が重要だと考えるが、いつころから市民への働きかけを始めるか。

(2) 社会教育施設・備品の維持・運営について

- ①学校の体育館を最も長く連続して市民が使えなかった期間は、学校ごとにそれぞれ何日か。
- ②体育館が社会教育施設であることを、教職員は認識しているか。
- ③社会教育施設にある様々な備品の管理責任はどこにあるか。

12月8日

11 人目

15 番

門 間 淑 子
(60 分)

- ④社会教育用の備品のうち、運搬が大変な大きな楽器などは、ゆとりぎにも用意すべきではないか。

3. 羽村駅西口周辺整備について

(1) 駅前広場の送迎車対策について

- ①現状で、駅前の送迎車列の長さは、雨のピーク時でどれくらいあると把握しているか。
- ②平成 23 年度末の暫定整備後にはそれに対応できる空間を確保できるか。

(2) 羽村駅自由通路について

- ①遅れの原因は何か。
- ②工事の見通しはどうか。

1. 平成 23 年度予算編成について

(1) 歳入について

- ①23 年度の市民税法人分及び個人分は、それぞれどれくらいと見込んでいるか。
- ②23 年度の市税総額は、22 年度と比較し、増減をどれくらいと見込んでいるか。
- ③国庫支出金、地方交付金、都支出金は、それぞれどれくらいと見込んでいるか。
- ④基金の取り崩し額は、どれくらいを予定しているか。
- ⑤市債はどれくらいを予定しているか。

(2) 歳出について

- ①補助費等の見直しが示されているが、市民参加の手法でなされるのか。
- ②扶助費は、どれくらいになるか。
- ③指定管理者について、新たな導入を検討するとあるが、対象はどこか。
- ④イベントの必要性・効果について、点検が示されているが対象事業は何か。
- ⑤財政支援団体の事務改善指導は、具体的にどのようなようにされるのか。
- ⑥西口区画整理への繰り出し額は、どれくらいを予定しているか。

(3) 緊急財政対策について

- ①第 1 次緊急財政対策による対策額は、どれくらいだったか。予定額への増減はあったか。
- ②第 2 次対策の策定を進めているとあるが、第 1 次対策との違いは何か。
- ③第 2 次対策の公表時期はいつか。

2. 公立保育園の民営化は慎重に

(1) 市立保育園民営化について

- ①民営化の前後では、保育施策に対する羽村市の責任は、どのように変わるのか。
- ②公立保育園では、民間では受け入れにくい重度の障がいを持つ子どもなどにも対応できる。また保育規準としての位置づけもある。4 園全てを民営化せず、公立保育園を残すべきではないか。

12 月 8 日

12 人目

1 番

鈴木拓也
(60 分)

- (2) 重度の障がいをもつ子どもの保育環境について、どのように考えているか。
- (3) 一時預かり事業の実施は、地区的に偏りがある。青梅線西側の公立保育園で一時預かり事業を実施してはどうか。

12 月 9 日

1. 小中一貫教育はどうなっているか

- (1) 相互乗り入れ授業について
- ① 今年度、どの学校の何年生の何の科目で、何回、何時間の相互乗り入れ授業がおこなわれてきたか。
 - ② その場合の教員が抜けた穴はどうやって対応したか。
 - ③ 相互乗り入れ授業をおこなうための、教員同士の打ち合わせは、どのようにおこなわれ、どのくらいの時間がかかったか。
 - ④ 相互乗り入れ授業の成果と課題をどう認識しているか。
- (2) 三中・武蔵野小での実施計画づくりについて
- ① 実施計画づくりはどこまですすんだか。主な内容と特徴は何か。
 - ② 実施計画には、教員、地域、保護者の意見はどのように反映されているのか。
 - ③ 保護者説明会など、実施計画決定にむけてのスケジュールはどうか。
- (3) 小中一貫教育は教員の多忙化に拍車をかける問題点が三鷹市などから報告されてきた。この点について、今年度のとりくみから、どう認識しているか。対応はどうする考えか。

2. 羽村駅西口区画整理事業の見直しを今こそ

- (1) 区画整理事業への税金投入について
- ① これまで市内でおこなわれてきた区画整理事業では、当初予算と実際にかかったお金はどう違いがあったか。なぜ違いが生じたのか。
 - ② 羽村駅西口区画整理事業では、当初予算 3.5 億円を大きく上回る税金投入が必要になる可能性があると考え、市はどう考えているか。
 - ③ 下水道の再整備など、西口区画整理事業エリアの街づくりに必要となる税金投入は、3.5 億円の予算以外に、どのくらい必要と見積もっているか。
- (2) 現在の街並みを生かした修復型街づくりについて
- ① 修復型街づくり方式による羽村駅西口エリアの整備を、市は検討したことはあるか。
 - ② あるとしたら、その結果はどうだったか。ないのであれば、なぜ検討しなかったのか。
- (3) いまおこなっている日本共産党の市民アンケートには、羽村駅西口区画整理事業を見直すべきと、多くの市民から回答が寄せられている。こうした声にこたえて、事業を大本から見直す必要があると考えるが、どうか。

13 人目	12 番	中 根 康 雄 (60 分)	<p>3. 高齢者向け家賃補助制度が必要ではないか</p> <p>(1) 福生市がおこなっているような、高齢者向けの家賃補助制度を創設し、高齢者の住まいの安定と福祉の向上をはかるべきと考えるが、どうか。</p> <p>1. 市有施設の維持・管理について</p> <p>(1) 昭和 56 年の新耐震基準以前の施設の数と主な施設名は。</p> <p>(2) 要建て替え施設の長期総合計画での位置づけは。</p> <p>(3) 各施設毎の計画修繕表は作成してあるか。</p> <p>(4) 所有施設建物の履歴書を作る考えはないか。</p> <p>(5) 歩行者用橋梁に併設された水管の耐震補強はされているか。</p> <p>(6) 施設照明に LED 照明を積極的に採用する考えはないか。</p> <p>2. 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) ハザードマップを作る考えはないか。</p> <p>(2) 防犯マップを作る考えはないか。</p> <p>(3) 緊急時用浄水装置の性能は如何に。</p> <p>(4) 狭あい道路対応の条例化をする考えはないか。</p> <p>(5) 市道の歩車道段差解消工事を行う考えはないか。</p> <p>3. 西口区画整理の問題点について</p> <p>(1) 現段階で清算金徴収の最高額と平均額はいくらか。</p> <p>(2) 現計画の減歩・清算金は応分の負担の範囲だと断言できるか。</p> <p>(3) 事業による商業活性化の具体策と購買人口増への具体策は何か。</p> <p>(4) 境界標設置と換地図の精度と信頼度はどの程度か。</p> <p>(5) 仮換地指定で権利者はどのような不利益を受けると考えるか。</p>	12 月 9 日
14 人目	18 番	中 原 雅 之 (50 分)	<p>1. 国民健康保険制度について</p> <p>(1) 「国民健康保険の広域化」について、都からの説明・協議などされているか。また、「広域化」についての市長の見解はどうか。</p> <p>(2) 来年度予算編成にあたって、国保税の収入見込み、収納率、一般会計繰り入れ等についての見通しはどうか。</p> <p>(3) 今年度の短期保険証、資格証の発行状況はどうか。</p> <p>(4) 「広域化等支援方針の策定について」との通達では「一般会計繰り入れによる赤字補填分については、保険料の引き上げ、収納率の向上・・・等により、早期に解消するよう努めること」としている。22年度の予算ベースで、「赤字補填分」を解消するには、どの程度の保険税の引き上げが必要と試算されるか。</p>	12 月 9 日

15 人目

7 番

馳 平 耕 三
(60 分)

2. 市役所窓口受け付けをいっそう便利に

- (1) 一例として、高齢者夫婦の世帯で、世帯主が死亡し、遺族が諸手続きを行うとした場合、何通の書類の提出が必要で、市役所のいくつかの窓口に行く必要があるか。市役所以外にはいくつかあると考えられるか。
- (2) 総合窓口の設置、ワンストップサービスの実施について、どのように考えているか。

1. 税収減は歳出の削減で補うべき

- (1) 来年度、今年度と比較して税収はどの程度減ると予想しているか。また、その税収減の主な原因は何か。
- (2) こうした税収減にどう対応する考えか。基金や市債はどのくらい活用する考えか。
- (3) 事業仕分けが実施される予定のようだが、仕分け対象となる事業は何事業あり、その予算規模は総額いくらぐらいになるか。また、誰がどのような基準で対象事業を選んだのか。
- (4) 仕分けをする人はどういう基準で選ばれたか。
- (5) 税収減は、歳出を削減することで補うべきだと考えるが市長はどう考えるか。

2. 学校の授業についていけない子供たちにどう対応するか。

- (1) 羽村市の各小学校・中学校で放課後補習を実施しているか。また、実施している学校はどの学年、どの教科をそれぞれ年間何時間ぐらい補習しているか。
- (2) どの学校でも同様に補習を求める保護者の声が強いが、羽村市教育委員会はどう考えているか。
- (3) 補習にあたっては、コピー代やテキスト代等が必要となる場合があるが、こうした経費を予算化できないか。
- (4) 補習を実施するにあたって、他の教科を担当する教師も手伝うべきではないか。また、地域の人材を活用する考えはないか。

3. 補助金の一括交付金化について市長はどう考えるか。

- (1) 市長は、11月22日に「国と地方の協議の場」で示された補助金の一括交付金化に賛成か反対か。また、その理由は。
- (2) 地方の自由度をもっと高めるように国に求めてはどうか。

12月9日

16 人目

5 番

山 崎 陽 一
(60 分)

1. 区画整理撤回要求 第15弾

- (1) 換地設計 (案) 第2次案の発表を中止せよ。
 - ① 換地設計 (案) 作成に当たり各戸の換地の審議がなされているか。
 - ② 商業地域の1階は住居に出来ないなど現実離れた地区計画で進めるのか。

12月9日

- ③約束した墓地跡の聞き取り調査の、結果を聞きたい。
 - ④約束した井戸跡の聞き取り調査の、結果を聞きたい。
 - ⑤反対や見直しを書いた地権者の意見はどう反映されているか。
 - ⑥事業計画変更をするそうだが、その内容を問う。
 - ⑦宅地造成イメージ等の説明会で道路網の説明が無かった。いつやるか。
 - ⑧ 2次案の個別説明方法、送付資料を聞く。
- (2)先導的都市環境形成計画を撤回せよ
- ①西口土地利用計画で「緑に浮かぶまちなみ発電所」としてエコミュージアムにすることが記述されている。具体的に説明せよ。
 - ②この計画の今後の進め方を問う。
 - ③アンケート結果を換地設計に反映とあるが、具体的に説明せよ。
 - ④地権者外の市民 1500 人へのアンケートの意味を問う。
 - ⑤市民を騙すような誘導的アンケート内容は、だれが作ったか。
 - ⑥無記名とあるが、地権者番号が書かれ、年齢、住所を問うたのはなぜか。
 - ⑦玉野総合コンサルタントへの委託経過を聞く。

2. 市民要望に沿った行政を求める

- (1)市政世論調査の結果を市政に生かせ
- ①市民要望ベスト3は「高齢者対策」「医療の充実」「子育て支援」だ。どんな施策で応えるか
 - ②区画整理による市街地整備への期待は 7.8%で10位。これを最重要課題とするのは市民の要望に反していないか。
 - ③住みたい理由に自然や環境の良さをあげている人は199人。行政サービスの良さをあげた人は28人で関心が低いようだがどう考えるか。
- (2)事業仕分けの目的と方法を聞く
- ①公開、外部の仕分け人、数値を掲げての仕分け作業なのか。
 - ②仕分け項目の選定に市民の要望、意見は入ったか。
 - ③仕分け結果は23年度予算など、施策に反映するのか。

